

コミュニティ・スクール について

大田区立馬込第三小学校

1 コミュニティ・スクールとは

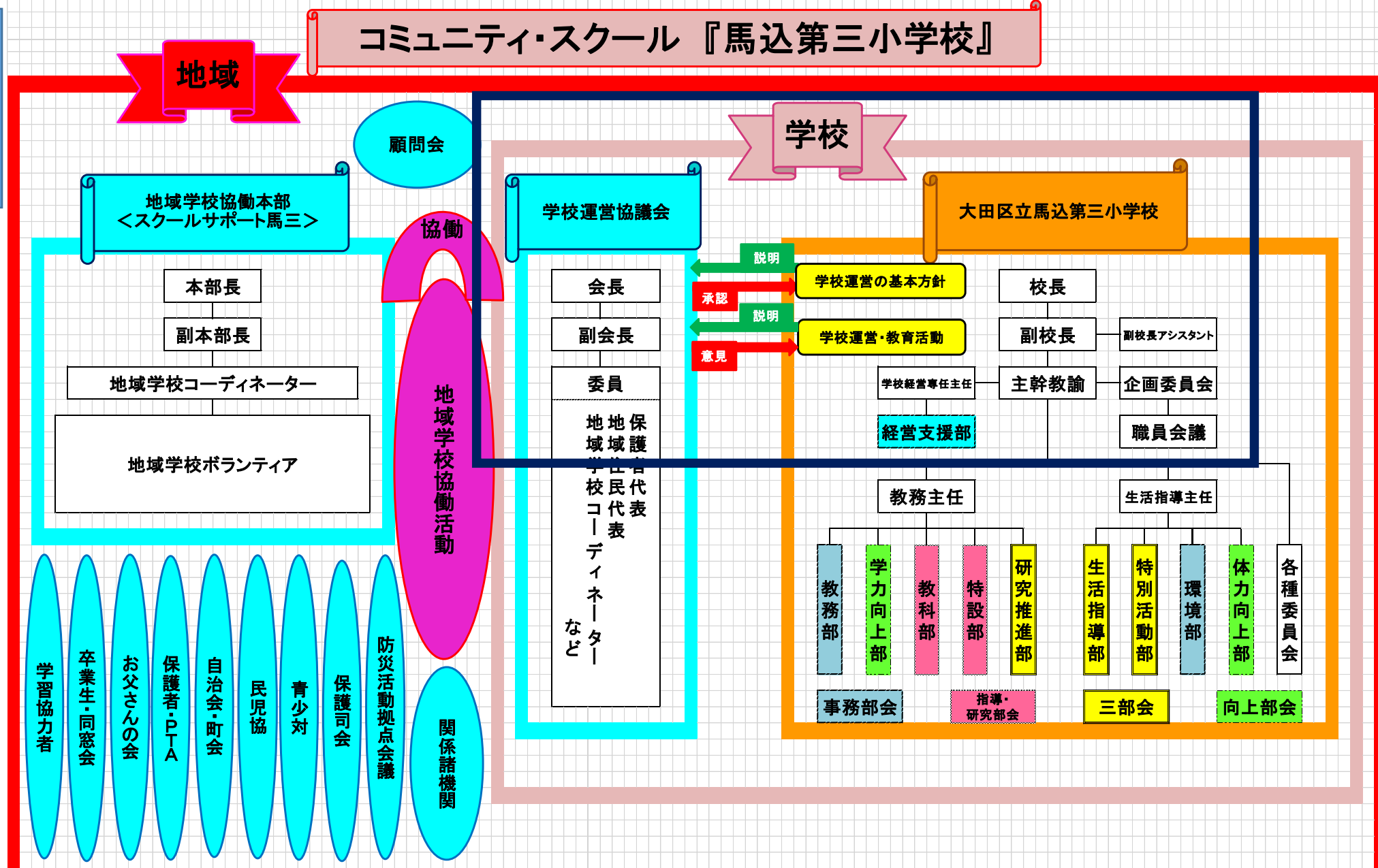
「学校運営協議会」を設置した学校のこと

学校運営協議会制度は、法に基づいて、保護者や地域住民などが一定の権限をもって学校運営に参画する仕組み

学校運営協議会は、学校運営の主体者として、校長が作成する学校運営の基本方針の承認や、学校運営全般への意見具申を行うなど、権限と責任をもって参画することができる

2 学校運営協議会の位置付け

学校運営 組織図



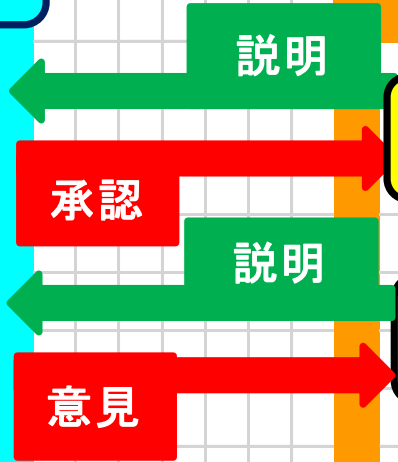
2 学校運営協議会の位置付け

学校

学校運営協議会

大田区立馬込第三小学校

- 会長
- 副会長
- 委員
- 地域保護
- 地域保護



学校運営の基本方針

学校運営・教育活動

学校経営専任主任

経営支援部

- 校長
- 副校長
- 主幹教諭

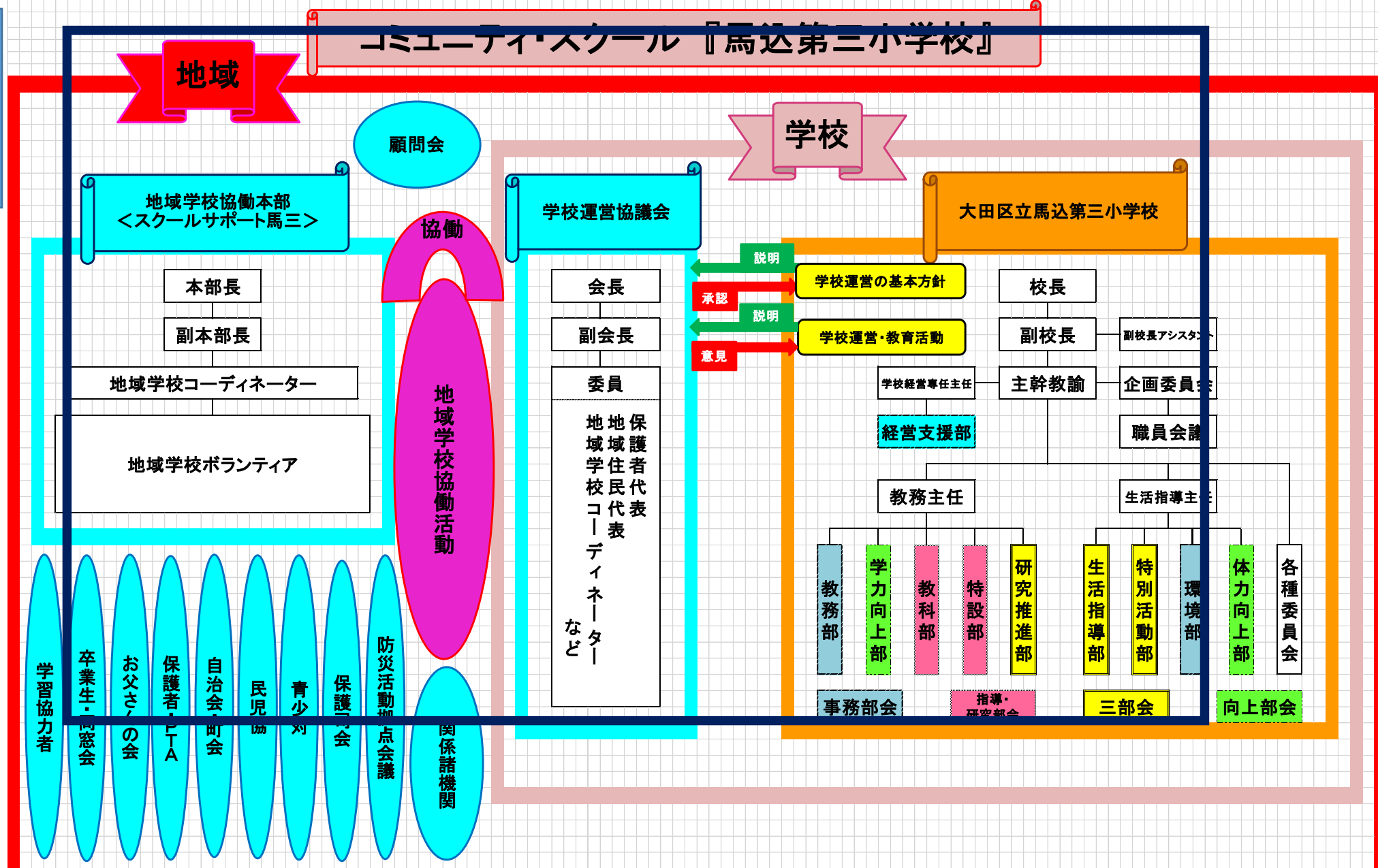
副校長アシスタント

企画委員会

職員会議

2 学校運営協議会の位置付け

学校運営 組織図



地域

学校

顧問会

地域学校協働本部
〈スクールサポート馬三〉

本部長

副本部長

地域学校コーディネーター

地域学校ボランティア

協働

地域学校協働活動

学校運営協議会

会長

副会長

委員

保護者代表
地域住民代表
地域学校コーディネーター
など

大田区立馬込第三小学校

校長

副校長

副校長アシスタント

主幹教諭

企画委員会

職員会議

経営支援部

教務主任

生活指導主任

教務部

学力向上部

教科部

特設部

研究推進部

生活指導部

特別活動部

環境部

事務部会

指導・研究部会

三部会

説明

承認

説明

意見

卒業生・同

お父さん

保護者

自治会

民児協

青少年

保護司

防災活動柳

2 学校運営協議会の位置付け

委員構成

自治会・町会 同窓会 PTA
地域学校協働本部（スクールサポート）
青少年委員 青少年対策馬込地区委員会
主任児童委員・民生委員 保護司
学校防災活動拠点本部 学習協力者
など

3 昨年度のモデル事業について

年間6回（6月・9月・11月・12月・1月・2月）

- 本校の課題・ビジョンについて
- 地域学校協働活動について
- 今年度の本校の教育活動の振り返り
- 来年度の本校の教育活動について
- 学校評価アンケート結果を受けて
- 学校関係者評価（自己評価報告書）
- 来年度の学校運営の基本的な方針の承認
- 来年度の地域学校協働活動について

3 昨年度のモデル事業について

昨年度の取組

学校運営協議会での協議の方法

委員が2～3グループに分かれ、

必要に応じて事務局（主幹教諭等）も入り、

4～5人のグループで **熟議**

「熟議」について説明します

3 モデル事業の実施

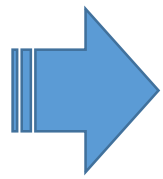
昨年度の取組

熟議

多くの当事者による
「熟慮」と「議論」を重ねながら、
課題解決を目指す対話のこと

熟議の流れ

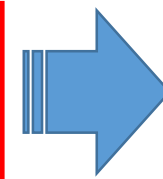
報告



熟慮



グループ協議



全体共有

熟議の様子を紹介します

3 モデル事業の実施

昨年度の取組

熟議の様子を紹介します

報告



3 モデル事業の実施

昨年度の取組

熟議の様子を紹介します

熟慮



3 モデル事業の実施

昨年度の取組

熟議の様子を紹介します

グループ協議



3 モデル事業の実施

昨年度の取組

グループ協議

熟議の様子を紹介します

事務局（副校長・主幹教諭）も参加



3 モデル事業の実施

昨年度の取組

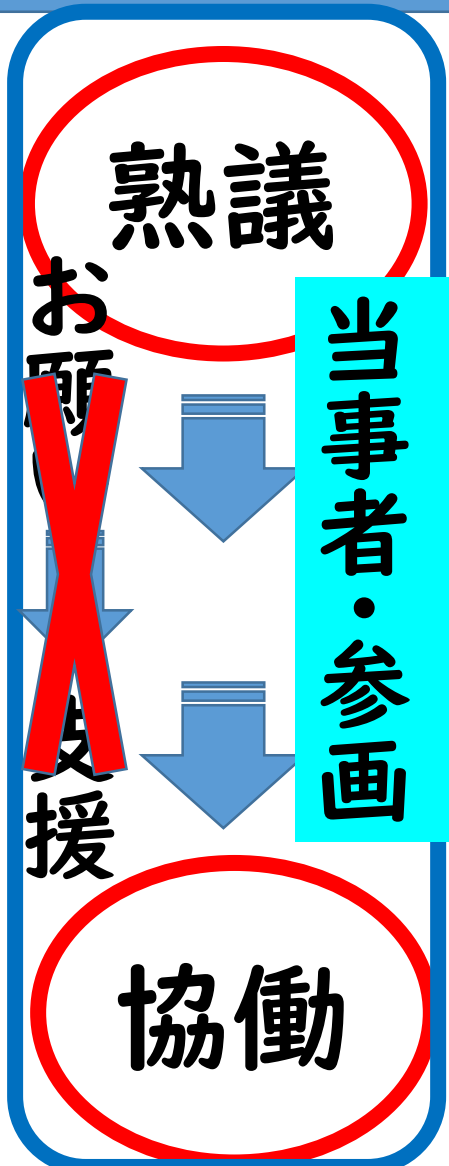
全体で共有

熟議の様子を紹介します



3 モデル事業の実施

昨年度の取組



多くの当事者による
「熟慮」と「議論」を重ねながら、
課題解決を目指す対話のこと

全体で課題やビジョンを共有

同じ目的・目標に向かって
対等の立場で協力して共に働くこと

4 取組事例

熟議で話し合われた内容

ビジョン

馬三の特徴は
「人と人とのつながり」

人とかかわる
コミュニケーション能力育成を目指したい

「人と人との魂のぶつかり合いができる学校」
「単なる通過点ではなく、記憶に残る学校」に

「新しい馬三を創る」
これまでの伝統を生かしつつ、
新しい施設を活用



4 取組事例

熟議で話し合われた内容

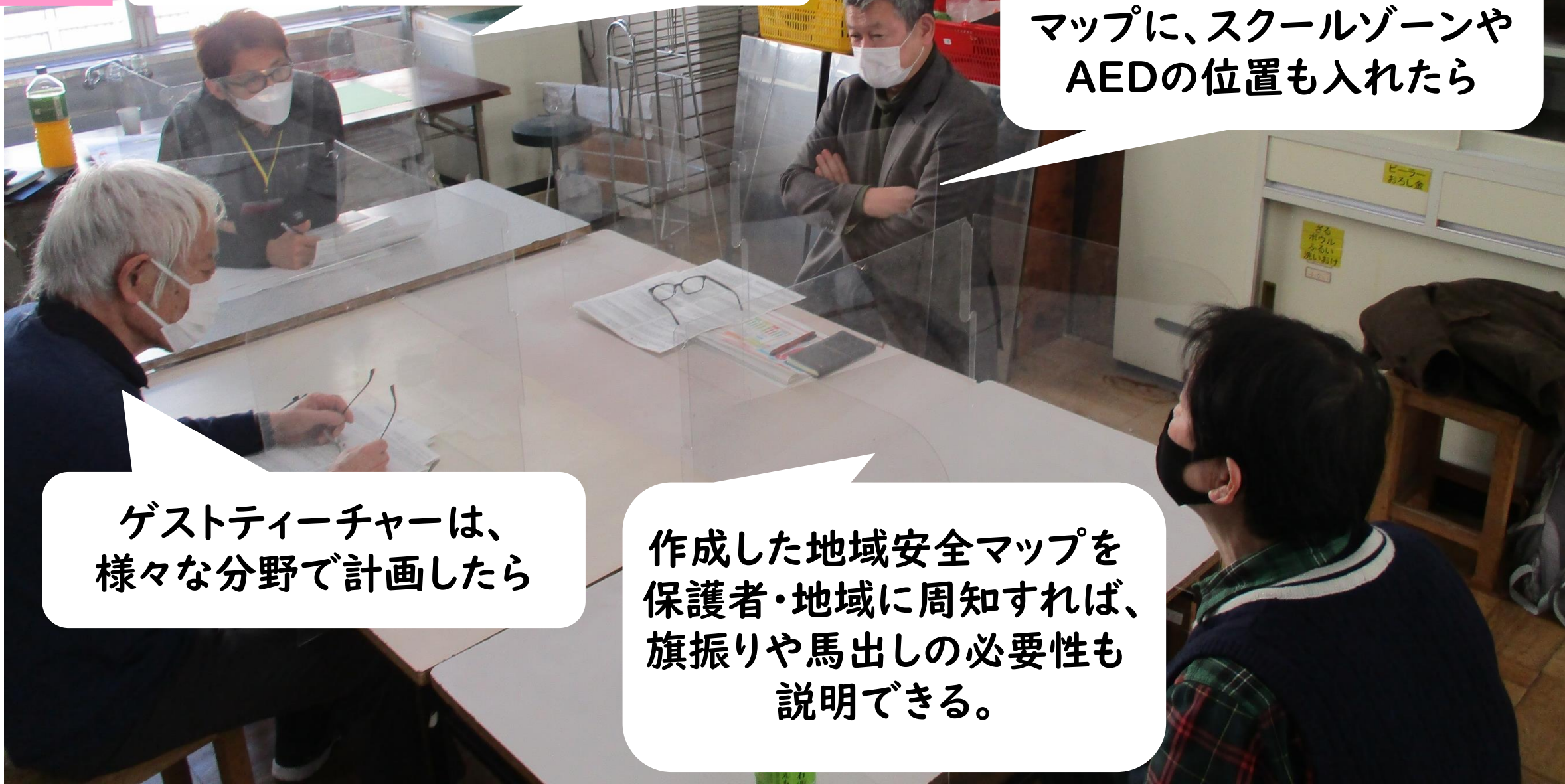
課題

子どもたちの言葉遣いが気になる

子どもが作成する地域安全マップに、スクールゾーンやAEDの位置も入れたら

ゲストティーチャーは、様々な分野で計画したら

作成した地域安全マップを保護者・地域に周知すれば、旗振りや馬出しの必要性も説明できる。



4 取組事例

熟議で話し合われた内容

地域学校協働活動

もっと地域にサポート
(毎朝の検温など)を
依頼するとよい

地域の歴史・伝統を地域の住人にも伝えていくとよい
(講演会・動画など)

イベントで信頼関係ができる
現在あるものをサポート

防災・減災についても考えていくとよい
近隣企業と防災協定を結んだら



4 取組事例

熟議で話し合われた内容

学校運営協議会の在り方

話し合うだけでなく、
行動に移さなければ
実働が大切

協議から実働に移すときの
連絡系統ができていない

地域から信頼される体制づくりが重要
各町会長へのアナウンスがカギとなる

学校・家庭・地域に周知し、
情報共有・協働活動することが重要



4 取組事例

地域学校協働活動

読み聞かせ



4 取組事例

地域学校協働活動

茶道教室



室生犀星の離れ

4 取組事例

地域学校協働活動

落ち葉清掃



4 取組事例 地域学校協働活動

イベント(盆踊り)



4 取組事例 地域学校協働活動

イベント(防災訓練)



4 取組事例

地域学校協働活動

イベント(サマーフェスタ)



4 取組事例

地域学校協働活動

イベント(水遊び)



水遊び後に
水風船の片付け

馬三小
お父さんの会



水遊び前に「いおの川」の清掃

5 コミュニティ・スクール モデル事業の成果

熟議

「熟慮」と「議論」

ビジョンや
課題の共有

情報の共有



ビジョン・課題の明確化

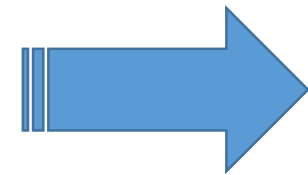
「地域でどのような子を育てたいのか」

協働

「チーム 馬三」

共有の好循環

アクションの共有



成功体験の共有

「子どもたちのためにできることを」

6 モデル事業を進める中で見えてきた課題

- 既存の組織との関係
- 委員の選定
- 地域・保護者への周知
- 熟議で共有したことを協働に移すための
連絡系統
- 予算・経費

7 今後の方向性

「子どもたちのためにできること」を考え
学校・地域・保護者が「チーム馬三」として
力を合わせて一体となって取り組んでいく

ビジョン・課題・地域学校協働活動

- 1 「人と人との魂のぶつかり合いができる学校」
- 2 「馬三の歴史を遺し、新しい馬三を創る」

学校運営協議会の在り方・進め方

- 1 多くの当事者による熟議の充実
- 2 協働に移すための連絡系統の確立

7 今後の方向性

ビジョン・課題・地域学校協働活動

1 「人と人との魂のぶつかり合いができる学校」

人や地域とかかわる活動を通して
コミュニケーション能力育成を目指す

○地域安全マップの作成

○ゲストティーチャーの活用

○イベントの充実（地域学校カレンダー）

○言葉遣いの改善を目指す取組

7 今後の方向性

ビジョン・課題・地域学校協働活動

2 「馬三の歴史を遺し、新しい馬三を創る」

これまでの歴史や伝統を生かしつつ

新しい施設を活用できるような新校舎設計

○人と人がかかわる「地域集会室」の活用

○「犀星の離れ」などの文化施設の活用

○災害に強い学校「学校防災活動拠点」の充実

7 今後の方向性

ビジョン・課題・地域学校協働活動

2 「馬三の歴史を遺し、新しい馬三を創る」

これまでの歴史や伝統を生かしつつ

新しい施設を活用できるような新校舎設計

「学校と地域が一体となり 地域力を生かして
子どもたちを見守り育む学びの場」

「未来に色濃く残る馬込の歴史を継承し
交流の輪が広がる地域交流拠点」

7 今後の方向性

学校運営協議会の在り方・進め方

1 多くの当事者による熟議の充実

○学校運営協議会の他の方々の声

保護者・地域住民・子どもたちなど

2 協働に移すための連絡系統の確立

○活動を支えるサポートメンバーへの周知

○コーディネーターを中心に連絡系統の整備



「地域とともに歩む学校」

「人や地域にかかわり学ぶ 馬込第三小学校」



御清聴ありがとうございました